

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年6月20日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	21週	22週	23週	24週	警報レベル		注意レベル
	5月20日～5月26日	5月27日～6月2日	6月3日～6月9日	6月10日～6月16日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
	—	—	—	—			
新型コロナウイルス感染症#	7	9	15	11	-	-	-
	2.33	3.00	5.00	3.67			
RSウイルス感染症	0	0	0	1	-	-	-
咽頭結膜熱	0	2	0	1	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	4	4	4	8	4	-
感染性胃腸炎	0	0	8	18	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	-	-
備考	感染性胃腸炎		

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

- ・新型コロナウイルス感染症は減少しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は横ばいです。
- ・感染性胃腸炎は増加しました。

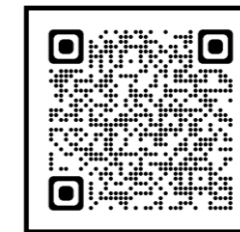
【 集団発生情報 】

新たな集団発生はありません。

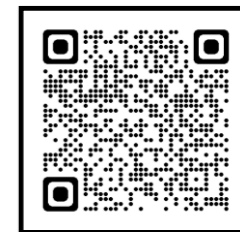
【 感染症コラム 】

～流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)～

- ・ムンプスウイルスの感染により2～3週間の潜伏期を経て、発症します。
- ・感染経路は飛沫・接触感染で感染力はかなり強いです。
- ・片側または両側の唾液腺の腫脹や圧痛、嚥下痛、発熱を主症状とし、1～2週間で軽快します。感染しても症状が現れない不顕性感染もかなりみられ、30～35%程です。
- ・最も多い合併症は髄膜炎であり、その他に髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎等があります。
- ・流行性耳下腺炎及びその合併症の治療は基本的に対症療法(症状に応じた治療)のみです。
- ・予防にはワクチンが有効です。
- ・学校保健安全法において「耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで出席停止」とされています。
- ・妊婦が感染すると胎児の発育に影響がでる恐れがあるため、注意しましょう。



感染症情報 ←



← 感染症検査

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>